

記者発表資料 4枚

令和3年2月17日
広野町
福島県相双農林事務所
福島県富岡土木事務所

広野町復旧・復興事業竣工式のお知らせ

広野町と福島県が進めてきた復旧・復興事業工事が完成しましたので、**令和3年2月28日（日）**に、町と県が合同で竣工式を開催します。

- 日時 令和3年2月28日（日） 午後1時30分
- 場所 双葉郡広野町中央台一丁目一番地（広野町中央体育館）
（別紙1「会場案内図」参照）当日、雨天及び荒天の場合でも行います。
- 主催 広野町、福島県相双農林事務所、福島県富岡土木事務所
- 式典概要 式辞、来賓祝辞、事業経過報告、テープカット、くす玉開披
- 事業概要 別紙2「広野町事業概要」、別紙3「福島県事業概要」参照
- その他 式典を安全に執り行うため、各種新型コロナウイルス対策を実施します。
一般の方のご来場はできません。
取材をご希望の方は、スタッフの指示に従って駐車していただき、当日、午後1時00分～1時20分までに受け付けいただくようお願いします。

浅見川地区海岸から広野駅周辺を望む



【問い合わせ先】

広野町 総務課 総務課長 林 聡宏
電話 0240-27-4161 FAX 0240-27-4539
相双農林事務所 農村整備部副部長 田代 広信
電話 0244-26-1163 FAX 0244-26-1168
富岡土木事務所 業務次長 佐藤 幹二郎
電話 0240-23-6531 FAX 0240-25-8357



ふくしまから
はじめよう。

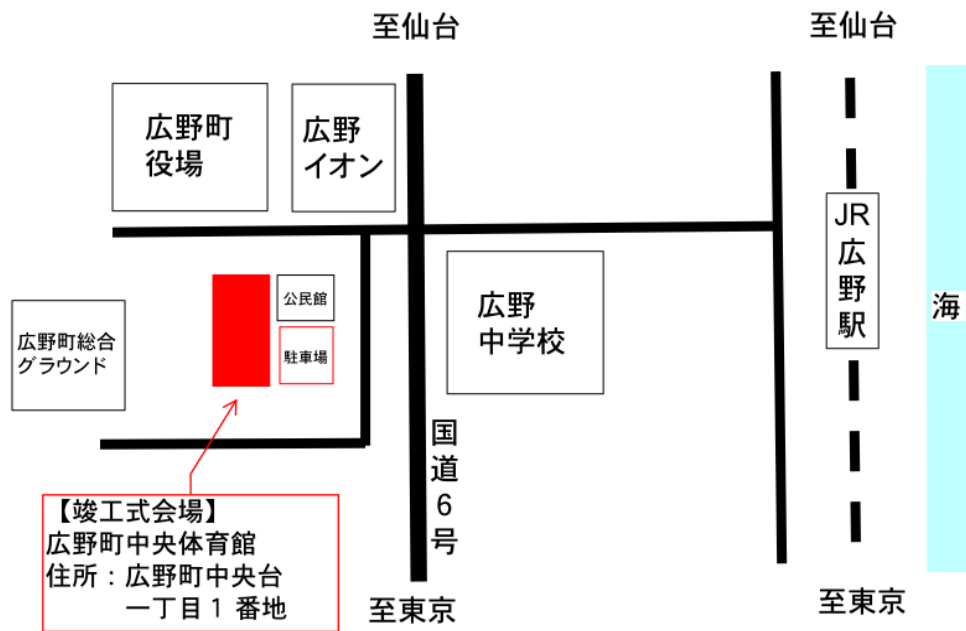
Future From Fukushima.

福島県

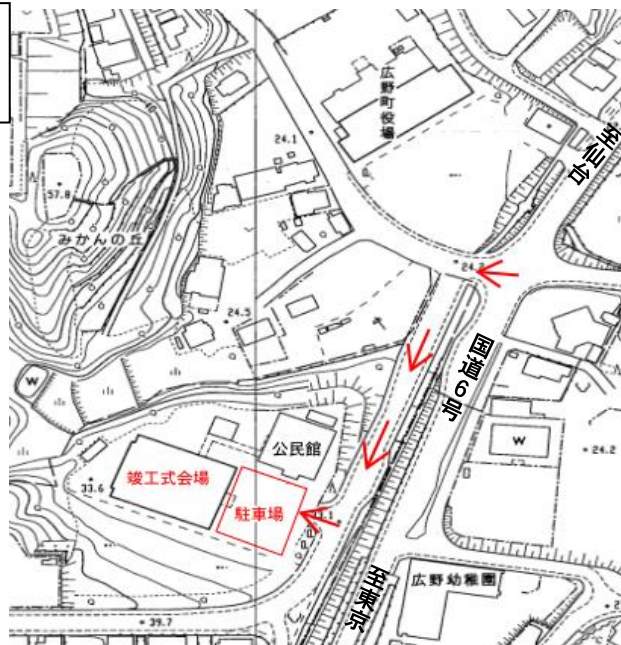
別紙 1

会場案内図

令和3年2月17日
広野町
福島県相双農林事務所
福島県富岡土木事務所



周辺図



駐車場については誘導員の指示に従い駐車願います。



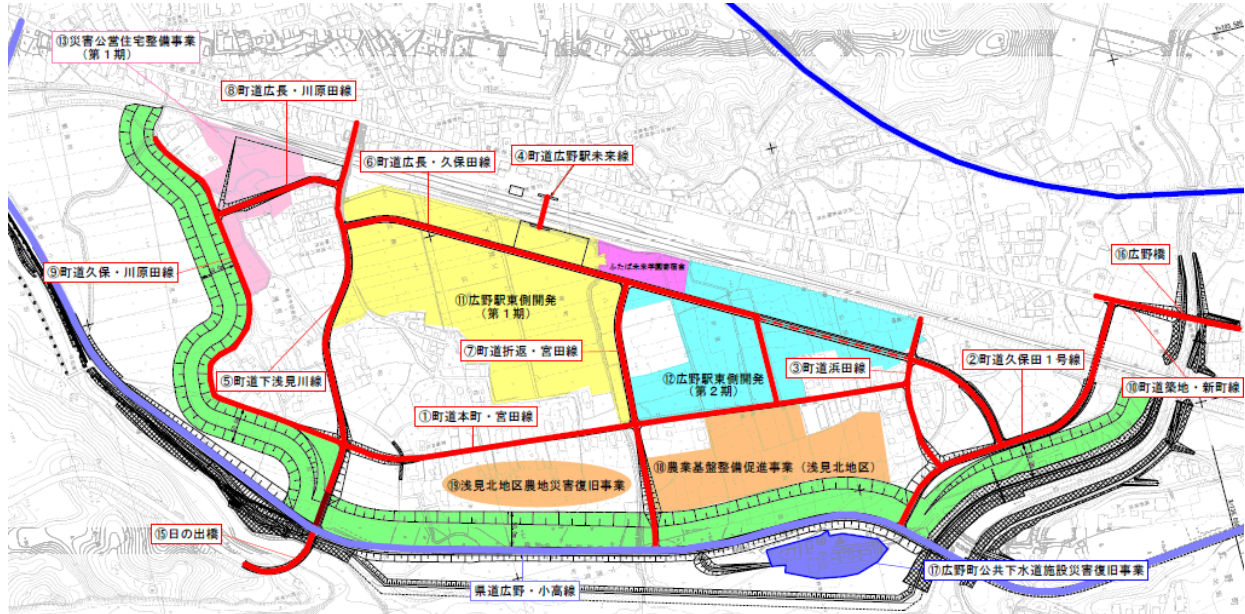
広野町事業概要



別紙 2

主な復旧・復興事業の概要

津波により甚大な被害を受けた沿岸部を中心に、福島県の事業と連携を図り、新たな土地利用計画に基づく道路整備をはじめ、既設道路とのネットワークの強化や避難路の整備を進めました。また、広野駅東側を核とした土地開発事業や津波被災等により全壊・流失した被災者の災害公営住宅を下浅見川地区と折木地区に整備しました。



No.	事業名	事業規模・内容	事業期間
①	町道本町・宮田線	延長 L=850.6m、幅員 W=4.0 (5.0) m	H24～H29
②	町道久保田 1 号線	延長 L=501.0m、幅員 W=5.5 (9.0) m	H24～H30
③	町道浜田線	延長 L=183.5m、幅員 W=4.0 (5.0) m	H24～H30
④	広野駅自由通路 (未来のかけ橋)	延長 L=38.4m、幅員 W=3.0m	H25～H29
⑤	町道下浅見川線	延長 L=644.2m、幅員 W=5.5 (8.75) m	H25～H29
⑥	町道広長・久保田線	延長 L=1,015m、幅員 W=5.5 (9.0) m	H24～
⑦	町道折返・宮田線	延長 L=371.2m、幅員 W=5.5 (9.0) m	H24～H30
⑧	町道広長・川原田線	延長 L=180.0m、幅員 4.0 (7.5) m	H24～H26
⑨	町道久保・川原田線	延長 L=637.5m、幅員 W=4.0 (5.0) m	H24～H28
⑩	町道築地・新町線	延長 L=285.3m、幅員 W=5.5 (9.25) m	H29～H31
⑪	広野駅東側開発整備事業 (第 1 期)	開発面積 A=7.57ha	H25～H27
⑫	広野駅東側開発整備事業 (第 2 期)	開発面積 A=6.90ha	H28～
⑬	災害公営住宅整備事業 (第 1 期)	戸建住宅 N=10 戸、集合住宅 N=38 戸	H24～H27
⑭	災害公営住宅整備事業 (第 2 期)	戸建住宅 N=8 戸、集合住宅 N=6 戸	H26～H29
⑮	日の出橋	延長 L=49.4m、幅員 W=5.5 (11.5) m	H25～H29
⑯	広野橋	延長 L=27.3m、幅員 W=6.75 (9.25) m	H25～H30
⑰	広野町公共下水道施設災害復旧事業	処理施設 A=8,500 m ² 、管渠延長 L=3,028m	H23～H29
⑱	農業基盤整備促進事業 (浅見北地区)	受益面積 A=3.20ha	H28～R2
⑲	浅見北地区農地災害復旧事業	復旧面積 A=3.08ha	H26
⑳	折木北地区農地災害復旧事業	復旧面積 A=6.69ha	H24



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

別紙 3

福島県

令和3年2月17日
福島県相双農林事務所
福島県富岡土木事務所

福島県事業概要

県では、東日本大震災により甚大な津波被害を受けた地区において、従来の海岸堤防のみの津波高潮対策を、「多重防御」による対策として、海岸堤防の嵩上げ、防災緑地、道路、土地利用の再編など複数の手法を組み合わせた「総合的な防災力の高いまちづくり」を進めております。令和2年3月に北迫川の災害復旧工事が竣工し、それ以前に完成していた浅見川地区海岸や広野小高線、ひろの防災緑地などと併せ、「多重防御」による対策が実現し、災害に強い市街地の形成が可能となりました。

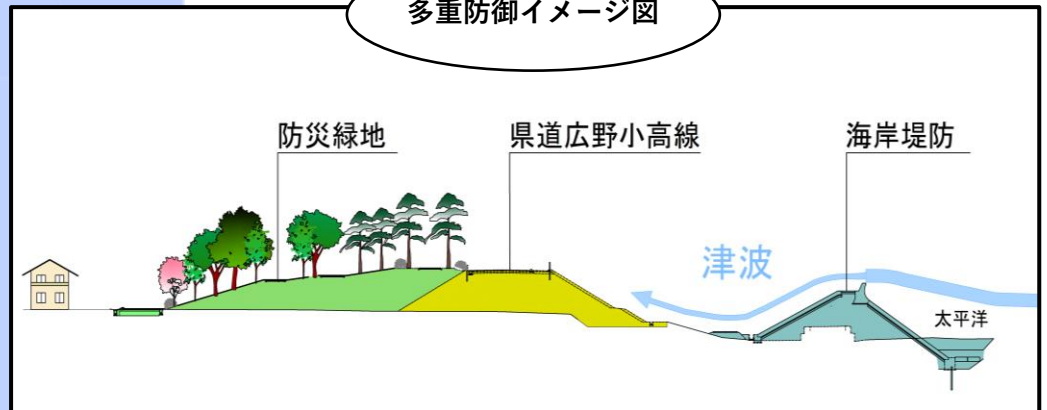


広野町内で、下表記載の施設（河川・海岸堤防、防災緑地、県道など）が完成しました。

広野町 事業概要

事業種別	事業規模・内容	事業期間	事業者
下北迫地区海岸	堤防工L=76.5m、消波工L=1,056.0m	H23~H30	富岡土木
北迫川	堤防工L=665.2m	H23~R1	富岡土木
広野小高線	道路改良工L=4,300m	H23~H29	富岡土木
ひろの防災緑地	防災緑地A=9.4ha、L=2,000m	H24~H28	富岡土木
浅見川地区海岸	堤防工L=837.0m、離岸堤工 L=510.0m	H23~H28	相双農林
浅見川	堤防工L=640.9m	H23~H28	富岡土木
高萩地区海岸	消波工L=450.0m	H23~H25	相双農林
折木川	堤防工L=328.1m	H23~H26	富岡土木
折木地区海岸	堤防工L=397.8m	H23~H28	富岡土木
夕筋地区海岸	堤防工L=224.8m	H23~H29	富岡土木

多重防御イメージ図



※この地図は、国土地理院地図を加工して作成しています。

県のホームページで、復旧・復興情報をご覧ください。

ふくしま復興 インフラ

検索



ポチッ